

1 議 案

(1) 会長及び副会長の選任について

ア 推 薦(2ページ 参照)

あま市人権ふれあいセンター運営審議会には、あま市人権ふれあいセンター運営審議会規則第5条の規定により会長及び副会長を置くこととされ、会長及び副会長は委員の皆様の互選により定めるとされております。また、同規則第4条第2項の規定により、委員の任期は2年となっておりますので、本審議会にて会長及び副会長を選任していただく必要がございます。

事務局としましては、前年度もあま市人権ふれあいセンター運営審議会の会長尽力され、経験も豊富であり、かつ会議の継続性ということを踏まえ、松永裕和委員を会長に、同様に橋本満優禧委員を副会長に推薦いたします。

イ 選 任

松永裕和委員を会長に、橋本満優禧委員を副会長とすることについて、別紙1「書面議決書」により押印のうえ御回答をお願いいたします。承認しない場合につきましては、別に推薦する委員の氏名を御記入ください。

2 議 題

(1) 令和元年度あま市人権ふれあいセンター事業実績報告について

ア 教室事業費決算について(5ページ 参照)

報償費(教室講師謝礼)の不用額については、10月のパン作り教室が台風により中止に、また新型コロナウイルス感染拡大防止対策により3月開講予定の全て教室が中止となったためでございます。

需用費については、歌謡教室用カラオケ新曲本、食生活改善事業用材料費の他、パン教室の材料を購入しております。

備品購入費については、茶道教室用筒釜を購入しております。従いまして、予算額1,372,000円に対しまして、支出済額1,270,825円となっております。

イ 実施回数と利用人数について(6ページ 参照)

令和元年度と平成30年度を比較して令和元年度の実施回数及び利用人数が減少しています要因の1つには、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため3月2日(月)より一般利用・教室・貸館を中止した影響があったものと考えております。

(2) 令和2年度あま市人権ふれあいセンター事業計画(案)について

ア 事業の基本方針(7・8ページ 参照)

(ア) 地域交流促進事業については、昨年度と同様の事業を計画いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため教室開講を9月まで中止または延期としております。そのため開講数を、当初計画から変更いたしました。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催してまいります。

(イ)・(ウ)・(エ)の各事業につきましても、昨年度と同様の事業計画をいたしました。休館中は中止となっております。

イ 教室事業費予算(9ページ 参照)

報償費・需要費・役務費について、昨年度と同額の予算を計上しております。

なお、報償費については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止が決まっている教室がございますので、不用額が生じる見込みでございます。

討 議

以上のことについて、別紙2「意見書」により署名押印のうえ御回答をお願いいたします。御記入方法については、記載例を御参照のうえ御記入ください。

(1) 令和元年度 あま市人権ふれあいセンター事業実績報告について

ア 教室事業費決算

令和元年度 予算現額 1,372,000円

令和元年度 決算額 1,270,825円

(円)

予算現額	支出済額	説明	不用額
報償費 1,172,000	1,080,100	(内訳)	91,900
		健康体操教室 140,000	
		手芸教室 120,000	
		歌謡教室 221,000	
		編み物教室 130,000	
		陶芸教室 70,000	
		生け花教室 143,000	
		茶道教室 90,000	
		パン作り教室 56,000	
		親子パン作り教室 14,000	
		夏休みこども教室 40,000	
		転倒骨折予防事業 56,100	
需用費 143,000	134,457	(内訳)	8,543
		教室用消耗品費 134,457	
備品購入費 57,000	56,268	(内訳)	732
		庁用器具費 56,268	
計 1,372,000	1,270,825		101,175

イ 実施回数と利用人数
(7) a 地域交流促進事業

令和元年度 :13,771名

平成30年度 :16,921名

内 容	令和元年度				平成30年度			
	定員	申込者数	実施回数	延人数	定員	申込者数	実施回数	延人数
陶芸教室	15名	8名	5回	26名	15名	8名	5回	28名
生け花教室	20名	13名	11回	143名	20名	14名	12回	117名
編み物教室	20名	23名	10回	148名	20名	23名	12回	188名
歌謡教室	40名	44名	17回	639名	40名	45名	18回	660名
健康体操教室	30名	38名	14回	364名	30名	39名	15回	368名
手芸教室	20名	16名	12回	143名	20名	20名	12回	183名
茶道教室	20名	13名	9回	84名	20名	14名	10回	97名
パン作り教室	12名	12名	8回	81名	12名	12名	10回	104名
親子パン作り教室	8組	32名	2回	32名	8組	34名	2回	34名
子ども習字教室	10名	29名	2回	20名	10名	20名	2回	20名
子ども陶芸教室	15名	25名	2回	25名	10名	20名	2回	20名
計		253名	92回	1,705名		249名	100回	1,819名

b 地区別教室申込者数

地区	甚目寺	美和	七宝	計	甚目寺	美和	七宝	計
延人数	195名	35名	23名	253名	197名	27名	25名	249名
実人数	169名	32名	22名	223名	155名	20名	20名	195名

(イ) 相談事業

内 容	令和元年度		平成30年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
こまりと相談	4回	0名	4回	41名
健康相談	2回	16名	2回	22名
人権相談・日常相談	随時	470名	随時	663名
計		486名		726名

(ウ) デイサービス事業

内 容	令和元年度		平成30年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
転倒骨折予防事業	11回	240名	12回	175名
食生活改善事業	5回	83名	6回	74名
計	16回	323名	18回	249名

(エ) a その他の事業(その他)

内 容	令和元年度		平成30年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
ハンセン病問題へのメッセージパネル展	1回	1名	1回	47名
人権啓発パネル展	1回	20名	1回	84名
ミニ・シアター	1回	10名	1回	8名
避難訓練	2回	23名	2回	18名
計	5回	54名	5回	157名

b その他の事業(図書閲覧)

内 容	令和元年度	平成30年度
利用人数	1,866名	1,273名
貸出人数(冊数)	79冊	35冊
蔵書数	3,834冊	3,814冊

c その他の事業(施設利用状況)

内 容	令和元年度		平成30年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
会議室等の利用許可	488回	6,549名	580回	8,877名
インターネット利用者	-	71名	-	82名
一般利用 (健康管理コーナー)	-	2,717名	-	3,738名
計	-	9,337名	-	12,697名

(2) 令和2年度 あま市人権ふれあいセンター事業計画(案)について

ア 事業の基本方針

時代と共に隣保館の役割も大きく変化しているところで、周辺地域を含めた地域社会全体の中で、人権ふれあいセンターは、人権教育・啓発を広げていく重要な生涯学習センター、コミュニティーセンターとしての機能が、求められている。今後、相談事業を始め各種事業を通じての住民交流をより一層深めると共に、生活全体をふまえての事業展開を図り、人権・同和問題の早期解決に向けた隣保館活動の充実に努める。

(ア) 地域交流促進事業

(新型コロナウイルス感染防止対策により、9月まで中止または延期)

開講教室	定員	当初計画	変更計画
陶芸教室	15名	5回開講	5回開講
生け花教室	20名	12回開講	7回開講
編み物教室	20名	12回開講	12回開講
歌謡教室	40名	18回開講	11回開講
健康体操教室	30名	15回開講	9回開講
手芸教室	20名	12回開講	12回開講
茶道教室	20名	10回開講	6回開講
パン作り教室	12名	10回開講	6回開講
親子パン作り教室	8組	2回開講	1回開講
子ども習字教室	20名	2回開講	0回開講
子ども陶芸教室	20名	2回開講	0回開講

(イ) 相談事業

- ・人権擁護委員、栄区長等による「人権相談」、「こまりごと相談」を年4回実施し、また、職員等による日常相談を随時受け、地域住民の抱えている身近な生活、法律などの相談に応じる。

また、住民より随時寄せられる相談には、その都度できる範囲内で応じ、行政、関係機関等への適切な連絡調整に努める。

- ・保健師による血圧測定、健康指導等の「健康相談」を、7月と1月の年2回実施して利用者の健康維持管理を図る。

(ウ) デイサービス事業(高齢者向け)

- ・転倒骨折予防事業(筋力アップ体操教室)

積極的に体を動かすことで、筋肉や骨を丈夫にして、転倒や骨折を予防する。

- ・食生活改善事業(なかよし昼食会)

高齢者が、自立して料理ができるようになることを目的として、皆で料理を作り、なかよく食事をする。

(エ) その他の事業

図書室蔵書の充実と、図書の利用貸出しに努めるほか、「子どもミニシアター」及び人権週間行事を開催し、児童の健全育成を図る。

イ 教室事業費予算

令和2年度 予算額

1,315,000円

(#REF! 決算額

1,270,825円)

(円)

	本年度	前年度	比較	説明	
報償費	1,172,000	1,172,000	0	(内訳)	
				陶芸教室	70,000
				生け花教室	156,000
				編み物教室	156,000
				歌謡教室	234,000
				健康体操教室	150,000
				手芸教室	120,000
				茶道教室	100,000
				パン作り教室	70,000
				親子パン作り教室	14,000
				夏休みこども教室	40,000
転倒骨折予防事業	62,000				
需用費	143,000	143,000	0	(内訳)	
				教室用消耗品費	143,000
備品購入費	0	57,000	△ 57,000	(内訳)	
				庁用器具費	0
計	1,315,000	1,372,000	△ 57,000		

3 報告事項

(1) あま市人権ふれあいセンター運営審議会規則の一部改正について

ア 改正理由及び内容(2ページ・11ページ 参照)

あま市人権ふれあいセンター運営審議会規則第2条「審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議するものとする。」の規定を鑑み、同規則第4条第1項第1号において、担当課職員に委嘱することは適当ではないと考え、同号を削除することといたしました。

それに伴い、同規則第4条第1項を「新旧対照表」のように改正いたしました。

内容といたしましては、同規則第4条の各号を削除し、「委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから市長が委嘱する。」と定めるものでございます。

イ 施行日(3ページ 参照)

この規則は、令和2年4月1日から施行いたします。

また、昨年度まで審議会委員の企画財政部長につきましては、事務局として出席させていただきますので、よろしくお願いいたします。